

「生き方メッセージ集」を見て、気づいたことをメモしましょう。

職場体験に向けてのわたしの決意



先生から

○
○
○
○
○
○
○
○
○
○
○



全体構想

No.45

単元名

「自分の夢への第一歩を踏み出そう」

1 学年、教科・領域	中学校第2学年 総合的な学習の時間
2 ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で働く幅広い年齢の方との交流を通して、それぞれの立場や考え方を尊重し、積極的に人間関係を築くことができる。
3 本実践とキャリア教育との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生では、地域で働く幅広い年齢の方と交流する職場体験を通して、勤労の意義や働く人々の様々な思いを知り、友達と共有する必要があると考える。 ・本実践は、一人一事業所で取り組む中で自立心を養い、働くことの喜びや苦勞を知る。職業調べを積み上げ、職場体験先の職業についての理解を深め、体験活動に生かしていく。学び、働くことの目的を理解し、夢を育てるというキャリア教育の視点から、意義ある活動である。

主な学習活動	時数
・職場体験先を決め、準備をしよう	5
「職場体験レベルアップ大作戦！」 (1) 職業調べから学んだことを話し合い、職場体験に生かせる内容を考えることができる。 (2) キャリア教育としての目標 本実践 「人間関係形成・社会形成能力」 <コミュニケーションスキル>	1
<職場体験>	
「職場体験で学んだことを深めよう！」 (1) 職場体験で学んだことを深めるために友達と意見交換し、これからの生活に生かすことができる。 (2) キャリア教育としての目標 本実践 「人間関係形成・社会形成能力」 <コミュニケーションスキル>	1
・お礼の手紙を書こう	1

<道徳>
4-(5)
勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神をもって、公共の福祉と社会の発展に努める

<道徳>
1-(2)
より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜く強い意志をもつ

<特別活動>
自分を生かす職業

自分の課題を見付けよう

職場体験で学んだことを深めよう！

1 学年、教科・領域 中学校第2学年 総合的な学習の時間

2 本時の目標

(1) 職場体験で学んだことを深めるために友達と意見交換し、これからの生活に生かすことができる。

(1) 「人間関係形成・社会形成能力」＜コミュニケーションスキル＞

3 準備

○ 職場体験時の写真、ワークシート、充実度グラフ

4 展開

キャリア教育の視点から見て重要なこと (◎) 評価 (☆)

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 職場体験を振り返り、充実度について自己評価をする。</p> <p>・ワークシートに充実度とその理由を考えて書く。</p> <p>・黒板にある充実度グラフ (%) に名前 (マグネットシート) を貼る。</p> <p>2 学級全体の充実度を知り、本時のねらいを聞く。</p>	<p>○職場体験時の写真を提示し、体験したことを思い出させる。</p> <p>○職場体験の充実度自己評価とその理由を記入させる。</p> <p>○職場体験を振り返り、働くことや生き方に関して自分の考えをまとめていくと共に、友達の考えや学びを知って、自分の生活に生かすことがねらいであることを伝える。</p>
<p>3 職場体験で感じたことについて意見交換する。</p> <p>・みんな体験だけではなく、きちんと自分の考えをもつことができていたのすごいと思った。</p> <p>4 「職場体験中の自分」について振り返る。</p>	<p>◎意見交換をしたり、友達の振り返りを回し読みしたりすることにより、気付いたことや考えたことをワークシートへ自由に記入し、発表させる。</p> <p>○生徒一人一人の素直な気持ちを表現させる。</p> <p>○机間指導により、一人一人の生徒の気付きに注目し、自分への気付きを自分のよさととらえることができるように助言する。</p>
<p>職場体験中のあなたは、どんな自分だったろう</p>	
<p>・子供がとても元気でびっくりしている自分だった。</p> <p>・この仕事が合っているか少し不安な自分だった。</p>	<p>○自分の将来を考える上で、自分のよさを生かし、改善が必要なところは補っていかねばならないことを話し、生徒に自分のことをじっくり振り返らせる。</p>
<p>5 学習を終えて学んだことをまとめて発表する。</p> <p>・自分に合った職業を見付け、自立するために頑張ろうと思う。</p> <p>・毎日同じ仕事ができるのは、誇りをもって働いているからできることだと分かった。</p>	<p>○友達の考え方、感じ方を知ることは、自分の考えが深まり、今後の生き方について考えるきっかけとなることを助言する。</p> <p>☆職場体験で学び、これからの生活に生かしたいことを記入できたか、発言やワークシートから判断する。</p>

夢をかなえる航海ノート

No.45-01

職場体験で学んだことを 深めよう!

体験から
自分を高めよう。



職場体験はどうだったかな。
決意したことができたきみ、成功の秘訣ひそかは何かな。
できなかったきみ、どうしてできなかったのかを振り返ってみよう。

職場体験のあなたの充実度は何%ですか。

その理由を簡単に書きましょう。

%

職場体験中の自分自身について自己評価をしてみましょう。

【A…とても思う B…そう思う C…あまり思わない D…思わない】

番	項目	自己評価	理由
1	挨拶をしっかりとすることができましたか。		
2	礼儀正しく他の人と接することができましたか。		
3	自分の役割を果たせましたか。		
4	職場の方に協力できましたか。		
5	与えられた仕事を自分なりに工夫できましたか。		
6	お客様や職場の方に喜んでもらえましたか。		
7	働くことの楽しさを感じる事ができましたか。		
8	働くことの大変さを感じる事ができましたか。		

体験を通して、自分自身が成長したと感じることは何ですか。

自分の将来を考える上で、友だちの感想や自己評価から、
職場体験中に気づいた自分のよさ、またこれから改善していきたいことを書きましょう。

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dotted lines.



先生から

保護者の方から

Three horizontal dotted lines for writing feedback from the teacher.

Three horizontal dotted lines for writing feedback from guardians.

A vertical column of seven empty circles for marking responses.



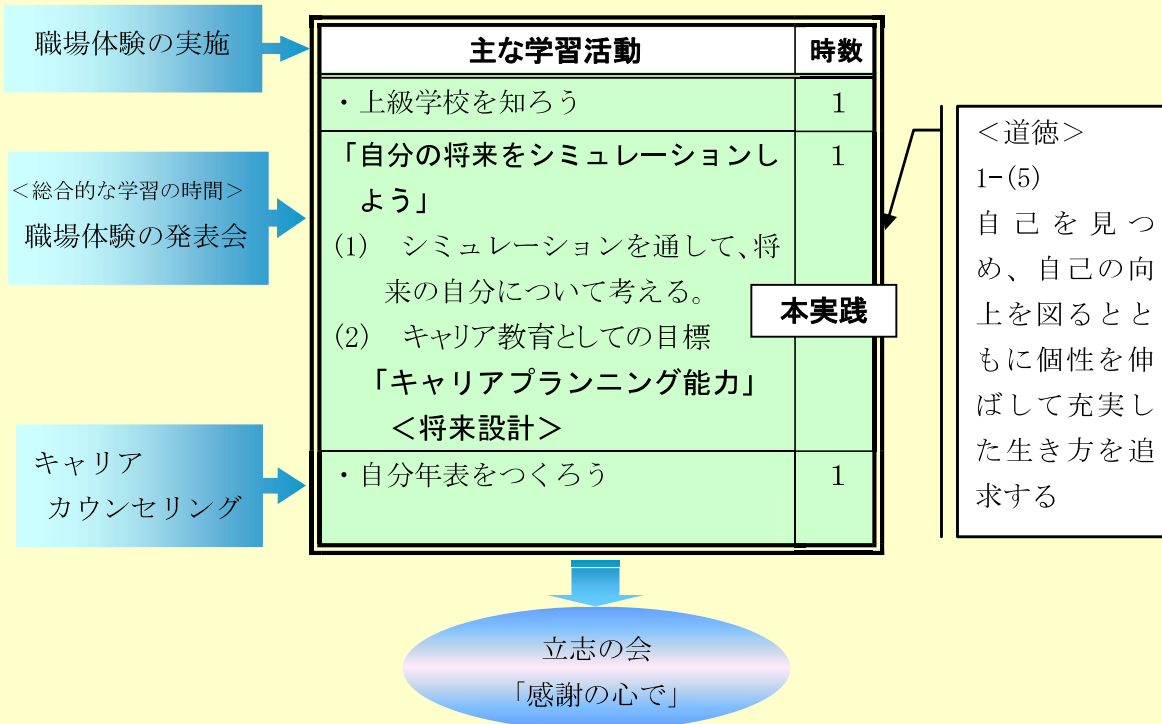
全体構想

No.46

題材名

「将来設計のために」

1 学年、教科・領域	中学校第2学年 学級活動
2 ねらい	・自分の進路について、見通しをもちながら、自分の将来を考え、自分の生き方について考える。
3 本実践とキャリア教育との関連	・中学2年生になると、1年生時に比べ、自分自身の卒業後の進路について少しずつ関心や不安をもち始める。そこで、進路指導において、多様な情報を得たり、学校公開における体験入学をしたりしながら具体的に進路について考えさせる。しかし、中学卒業後の進路にのみとらわれてしまいがちになり、進学後の自分のことまでは考えられないことが多い。キャリア教育の目的は、一人一人の社会的・職業的に自立するために必要な基盤となる能力や態度の育成であるという視点から、ここでは、将来の自分を思い描きながら、卒業後の進路を考え、生き方考えるようにさせたい。



自分の将来をシミュレーションしよう

1 学年、教科・領域 中学校第2学年 学級活動

2 本時の目標

(1) シミュレーションを通して、将来の自分について考える。

(2) 「キャリアプランニング能力」＜将来設計＞

3 準備

- 事前アンケート「上級学校卒業後の進路について」の結果、ワークシート「今から10年後の自分に聞いてみよう」

4 展開

キャリア教育の視点から見て重要なこと (◎) 評価 (☆)

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1 アンケート結果を提示し、自由に意見を発表する。	○文部科学省のデータとも比較しながら、傾向を示す。 ○多様な意見を肯定的に受け止めさせる。
2 上級学校卒業後の進路を選択した理由を考え、発表する。	
3 本時の課題を把握する。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 60%;"> 今から10年後の自分を考えてみよう </div>	
4 ワークシート「今から10年後の自分に聞いてみよう」を記入する。	◎将来を見通して、10年後の自分を想像しながらワークシートに記入させる。 ○それぞれが思い描く10年後から、様々な人生があることに気付かせる。 ○自分と比較しながら、友達の発表で気になった内容をワークシート（右側）に記録させる。
5 ワークシート「今から10年後の自分に聞いてみよう」の内容を発表する。 ・高校を卒業し会社で働いている。 ・27歳で結婚し、家庭生活を送っている。 ・今、後悔していることはもっと英語の勉強をしておけばよかったということ。	
6 友達の発表を聞き、自分の「夢」をかなえるためには、これから何が必要なのか、を考えワークシートにまとめる。	
7 教師の話を聞く。	○ここまで記入したワークシートを見ながら、将来設計をさせ、今の自分と比較しながら記入させる。 ☆「将来の自分」について考えをまとめ、目標をもち今後の生活を送ろうとする気持ちが高まったか、ワークシートから判断する。 ○中学時代の教師自身の人生設計にかかわる経験を話した後、「立志の会」「自分年表」について予告する。

夢をかなえる航海ノート

No.46-01

今から10年後の自分に 聞いてみよう

自分を知り、
未来のなりたい自分を
かなえよう。



目の前のことも大切だけど、未来のきみを想像することも同じくらい大切だよ。
なりたい自分がいて、その思いをかなえるために、
「今、何をすべきか。」が分かってくるんだ。

10年後のきみが、目の前にいます。

10年後の自分に次の質問をしたら、10年後のきみは何と答えるでしょうか。

10年後の自分になったつもりで答えましょう。

質問1 今、どこにいますか？

.....
.....

友だちの答えを聞いての感想

.....
.....

質問2 今、何をしていますか。(学生、職業など)

.....
.....

友だちの答えを聞いての感想

.....
.....

質問3 今、一番興味をもっていることは何ですか。

.....
.....

友だちの答えを聞いての感想

.....
.....

質問4 子どものころの夢で実現したことはありますか。

.....
.....

友だちの答えを聞いての感想

.....
.....



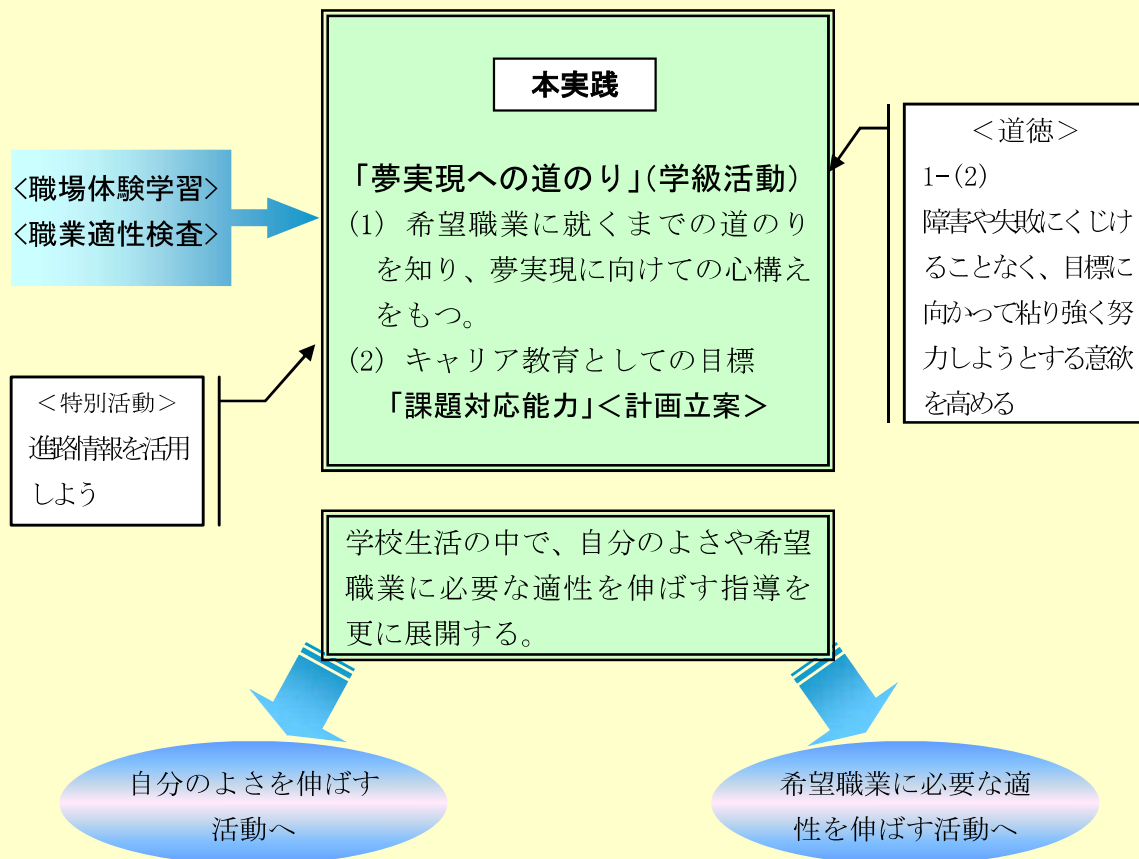
全体構想

No.47

題材名

「夢実現への道のり」

1 学年、教科・領域	中学校第3学年 学級活動
2 ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 希望職業に就くまでの道のりを知り、夢実現に向けての心構えをもつ。
3 本実践とキャリア教育との関連	<ul style="list-style-type: none"> 「夢実現への道のり」とは希望職業に就くまでのルートのことである。それを検討するには、今の自分をもう一度見つめ直し、自分に適した進路選択をすることが必要である。そして、夢を実現させるためには、一通りの道のりだけではなく、様々なルートがあることを理解する必要がある。 本実践では、希望職業に就くために必要な資格や適性と共に、就職するまでの様々な道のりについて調べる。その中から自分のよさや適性を踏まえ、自分に適した道のりを考えさせる。その道のりを計画立案することを通して、課題対応能力を養う。



夢実現への道のり

1 学年、教科・領域 中学校第3学年 学級活動

2 本時の目標

(1) 希望職業に就くまでの道のりを知り、夢実現に向けての心構えをもつ。

(2) 「課題対応能力」<計画立案>

3 準備

- 「将来なりたい職業」のアンケート結果、ワークシート、情報収集用図書、パソコン（インターネット）

4 展開

キャリア教育の視点から見て重要なこと (◎) 評価 (☆)

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1 学級アンケート「将来なりたい職業」の結果を知る。	○アンケート結果を配付し、学級の仲間がいろいろな職業に就きたいと考えていることを確認する。
2 本時の課題を把握する。	○中学校卒業後から希望職業に就くまでの計画を立てることを知らせる。
就職するまでの道のりを知ろう	
3 希望職業に就くまでの道のりを考える。 (1) 必要な資格を確認する。 ・美容師免許 ・看護師免許 (2) 適性を考える。 ・国家試験の合格に向けて学力が必要だ。 ・人への思いやりが大切だ。 (3) 中学校卒業から就職するまでの道のりをまとめ、発表する。 ・中学校→高等学校→美容師養成施設(免許)→国家試験→美容師	◎必要な資格や適性をインターネットや図書から情報収集し、自分に適した道のりを計画させる。 ☆自分に適した道のりを計画することができたか、ワークシートや発言から判断する。 ○適性については調べた内容だけでなく、自分で考えた内容もワークシートに記入するよう指示する。 ○各自のワークシートをもとに、いくつかの特徴的な道のりを発表させ、就職に向けていろいろな道のりがあることに気付かせる。
4 進路選択に向けての心構えや今後の過ごし方について考える。 ・今まで以上に学力向上に努力する。 ・相手の立場に立って話したり、行動したりするよう心がけたい。	○今後の学校生活を充実させることが、夢実現に向けて大切であることを押さえる。
5 教師の話聞く。	○夢実現への道のりは一通りとは限らないため、自分に適した道のりを考える必要があり、今後の学校生活で自分のよさを伸ばす努力が大切であることを伝える。

夢をかなえる航海ノート

No.47-01

夢実現への道のり

調べて、考えて、
よりよい準備を
すすめよう。



なりたい自分をかなえるためには、どんな道を選び、どんな勉強が必要なのか。
それがわかると、具体的な目標が見え、がんばる気持ちがアップするぞ。

希望職業に就くまでの道のりを考えよう

私の希望職業

必要な資格を調べましょう。

必要な適性を考えましょう。

中学校卒業から就職までの道のりを考えましょう。

[中学校卒業]

[]

[]

[]

これからの学校生活をどのように過ごそうと思いますか。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

ぼくはまず高校進学をする。
そのためには、
とにかく受験勉強に
全力投球だ。

「困っている人の役に立ちたい。」
という私の希望をかなえるために、
もっと社会のしくみを
勉強しなくちゃ。





全体構想

No.48

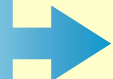
題材名

「箏」

1 学年、教科・領域	中学校第3学年 道徳
2 ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 困難に屈することなく、自己の向上を図り、将来に向かって個性を伸ばして充実した生き方を求めようとする気持ちを高める。
3 本実践とキャリア教育との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人間は、だれでもよりよく生きたいと願っている。また、一人一人の人間は姿や形が違うように、人には、必ずそれぞれのよさがあるものである。個性を発見し、それを伸ばしていくことは、人それぞれの生涯をかけての課題でもある。それは、困難に屈することなく、絶えず自己を高めようとする意欲や態度をもち続けることで実現できるであろう。 ・ 本実践は、自分を振り返り、今の自分を前向きに考え、少しのことにくじけることなく行動しようとする意欲をもたせることに重きを置いている。生徒の自己理解に重点を置き、実生活においてストレスコントロールしていくというキャリア教育の視点から、意義ある活動である。

<当番活動>

- ・ 日直
- ・ 給食当番
- ・ 掃除当番
- ・ 委員会活動



本実践

「箏」(道徳)

- (1) 困難に屈することなく、自己の向上を図り、個性を伸ばして充実した生き方を求めようとする気持ちを高める。
- (2) キャリア教育としての目標
「自己理解・自己管理能力」
<前向きに考える力、
ストレスコントロール>

<学級活動>

望ましい勤労観・職業観の形成



朝の会、帰りの会で、いろいろな活動を見直し、自己理解を深める指導を更に展開する。



他の活動や
職に関する活動へ

箏

1 学年、教科・領域 中学校第3学年 道徳【1-(5)】

2 本時の目標

(1) 困難に屈することなく、自己の向上を図り、個性を伸ばして充実した生き方を求めようとする気持ちを高める。

(2) 「自己理解・自己管理能力」＜前向きに考える力、ストレスコントロール＞

3 準備

○ 資料「箏」（出典：明るい人生）、振り返りシート

4 展開

キャリア教育の視点から見て重要なこと (◎) 評価 (☆)

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1 宮城道雄の略歴を知り、宮城道雄の箏曲を聞く。	○宮城道雄の箏曲「春の海」などを聞かせる。
2 本資料を読んで話し合う。 (1) 筆者は、目が見えないということをどのように考えていますか。 ・今は、よかったと考えている。 (2) 筆者は、最初から、このような心境に到達していたのでしょうか。 ・不安なことばかりで、苦労があったと思う。 ・目が見えれば、いろいろな職業に就けると思ったかもしれない。 (3) 箏と筆者の関係は、どのような関係ですか。また、箏は、筆者の生活にとって、どんな意味をもっているのでしょうか。 ・「わたし」にとってなくてはならないものと考えている。 (4) 筆者は、芸道の修行について、特に心掛ければならないことは、どんなことだと言っていますか。 ・慢心の戒めがないといけない。 3 生活を振り返る。 (1) 自己の向上のために、日ごろどんなことに気を付けたらよいのでしょうか。 ・少しのことにくじけないで、よいところを見つめたい。 ・自分に自信をもって、今、よいと思うところをしっかりと伸ばしたい。	○資料「もし、なまじ目があいていたら・・・。」「目の見える人は・・・。」の部分にも注目させる。 ○資料に即し、筆者の気持ちになって考えさせるように導く。なお、発言が不活発な場合には、班ごとの話し合いなどを活用する。 ○現在の筆者にとって箏の存在の大きさを、共感的に理解させる。 ○芸道の修行についての筆者の考えを理解させ、厳しい精進と謙虚な心に気付かせる。 ◎振り返りシートに自己の向上を前向きにとらえて書き、発表させることで自らを振り返らせる。 ☆物事を前向きに考え、少しのことにくじけず行動しようとする意欲が高まったかを振り返りシートや発表内容から判断する。
4 教師の話聞く。	○振り返りシートに書いた思いをいろいろな場で、自己評価することを伝え、「自己を高める」ことの意識化を図る。

夢をかなえる航海ノート

No.48

箏

自分の個性を知ろう。
自分を磨こう。



壁にぶつかってもあきらめない心や限界を決めないで自分の力を伸ばす意欲を宮城道雄さんの話を通して考えてほしいな。

今の自分について感じたことや、自分の向上のために心掛けたいことを書きましょう。

Handwriting practice area with horizontal dashed lines.

お正月にテレビなどから流れてくる曲「春の海」は、宮城道雄さんの代表作だよ。



全体構想

No.49



単元名

「人権と共生社会」

1 学年、教科・領域	中学校第3学年 社会科（公民）
2 ねらい	・自由権、社会権、人権問題にはどのようなものがあるかを知り、その重要性について事例を通して、理解する。
3 本実践とキャリア教育との関連	・働くということは、その人の生き方に大きくかかわる。生活のために収入を得るというだけでなく、働くことを通して、やりがいを感じたり、自己実現を図ったりして、社会に貢献していくことにもつながる。また、日本国憲法には「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」とあり、そのために社会権が保障されている。社会権の中では、「勤労の権利」と「労働基本権」が働く人のために権利として認められている。一方で、国民には国民生活を支えるためになすべき義務として、納税の義務や勤労の義務がある。こうした労働に対する権利と義務を事例を通して学ぶことで、働くことの意義を、更に深く知ることができると考える。

ボランティア活動

主な学習活動	時数
・ともに生きる① 差別をなくす	1
・ともに生きる② 共生社会	1
・自由に生きるために 自由権	1
「豊かに生きる 社会権とは」	1
(1) 社会権にはどのようなものがあり、それらがなぜ重要なのか、事例を通して理解する。	
(2) キャリア教育としての目標 「キャリアプランニング能力」 ＜働くことの意義や役割の理解＞	
・人権保障を確かなものに	1
・社会の発展と新しい人権	1
・国際社会と人権	1

本実践

＜道徳＞
4-(5)
勤労の尊さや意義を理解し、公共の福祉と社会の発展に努める

＜道徳＞
4-(1)
法やきまりの意義を理解し、自他の権利を重んじ義務を確実に果たして、社会の秩序と規律を高めるように努める

勤労観・職業観を
はぐくむ活動へ

豊かに生きる 社会権とは

1 学年、教科・領域 中学校第3学年 社会科（公民）

2 本時の目標

(1) 社会権にはどのようなものがあり、それらがなぜ重要なのか、具体的な事例を通して理解する。

(2) 「キャリアプランニング能力」＜働くことの意義や役割の理解＞

3 展開 キャリア教育の視点から見て重要なこと (◎) 評価 (☆)

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1 社会権が人権規定に取り入れられた経緯を振り返る。	○資本主義の発展に伴う失業・貧困などを原因とする貧富の拡大が社会権確立の背景にあることに気付かせる。
2 本時の課題を把握する。	
社会権にはどんなものがあるのだろうか	
3 教科書、資料から、社会権について調べる。 ①生存権 ②教育を受ける権利 ③勤労の権利	○日本国憲法のどこに書かれているのかを確認させる。 ○社会権のうちで基本となるのが、憲法第25条であることを理解させる。 ○具体的な事例を示しながら、憲法に保障された権利を理解させる。
4 勤労の権利と労働基本権について調べる。 ①団結権 ②団体交渉権 ③団体行動権	○よりよい生活を送るためには、それを支える賃金や労働条件の改善が重要な問題であることを理解させる。
5 国民の義務について話し合う。 ①普通教育を受けさせる義務 ②勤労の義務 ③納税の義務 ・働くことは、生きがいになる。 ・収入がないと生活ができない。 ・納税をしなければ、国が成立しない。 ・困っている人のために税金が使われている。	○日本国憲法に、なぜ「3つの義務」があるのかを考えさせる。 ◎働くことが、自分の生き方にかかわるだけでなく、社会を支えていくことにもつながっていくことを身近な例を基に話し合わせる。
6 本時のまとめをする。	☆勤労の権利や義務について、自分の考えをまとめることができたか、授業感想から判断する。

夢をかなえる航海ノート

No.49-01

豊かに生きる 社会権とは

調べて、考えて、
よりよい答えを
見つけよう。



働くことは、収入を得るだけでなく、社会を支えるためにも大切なことなんだ。
どうしてか。その理由を社会権、権利と義務の関係などを学びながら考えてみよう。

教科書や資料を使って、社会権とはどのような権利か調べましょう。

教科書や資料を使って、働く権利にはどのようなものがあるか調べましょう。

国民の義務について考えます。なぜ、日本国憲法に「3つの義務」があるのでしょうか。

今日の授業を通して、国民の勤労の権利や義務について、あなたの考えを書きましょう。



先生から

保護者の方から

○

○

○

○

○

○

○

○

全体構想

No.50



単元名

「メディア社会を生きる」

1 学年、教科・領域	中学校第3学年 国語科
2 ねらい	・文章を分析し、自らの体験や多様な価値観と対比させながら、批判して読む能力を身に付ける。
3 本実践とキャリア教育との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・一般に筆者のものの見方や価値観に触れると、書かれていることを無批判に受け入れてしまう傾向がある。しかし、情報化社会においては、筆者の価値観を認めていく一方で、自らの体験や多様な価値観と対比させながら、批判して読む能力を身に付けていく必要がある。 ・本実践では、紹介文と批評文を読み比べることで違いを知り、自分の考えを組み入れた批評文を書く。この活動を通して、文章を評価・改善し、読み手に分かりやすい表現力を養う。

<メディア体験>

- ・テレビ
- ・ラジオ
- ・図書
- ・インターネット

主な学習活動	時数
・メディア社会を生きる	1
・書き手の考えに触れる	3
・自分の考えを広げる	1
「メディア社会を生きる」を批評する	1
本実践	
(1) 筆者の考えと自分の考えを比較しながら、文章を評価・改善し、読み手に分かりやすい表現力を養う。	
(2) キャリア教育としての目標 「課題対応能力」<評価・改善>	
・新聞の特徴を生かして書こう	6
・豊かな言葉	2
・本の世界を広げよう	4

<道徳>

2-(5)
いろいろなものの見方や考え方があることを理解するとともに、それらの考え方を寛容に受け止め、尊重し、謙虚に学ぼうとする広い心をもたせる

<技術科>

情報社会と自己責任

<特別活動>

学級新聞を作ろう

朝読書活動

“メディア社会を生きる”を批評する

1 学年、教科・領域 中学校第3学年 国語科

2 本時の目標

(1) 筆者の考えと自分の考えを比較しながら、文章を評価・改善し、読み手に分かりやすい表現力を養う。

(2) 「課題対応能力」＜評価・改善＞

3 準備

○ トヨタの電気自動車の説明文・批評文、情報モラル専用サイト「i—モラル」

4 展開

キャリア教育の視点から見て重要なこと (◎) 評価 (☆)

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1 電気自動車の説明文を読み、感想をもつ。 ・電気自動車について知らなかったことが分かった。	○トヨタの電気自動車の説明文を配付し、感想や分かったことをまとめさせる。
2 本時の課題を把握する。	○読み手に分かりやすい表現を、2つの文章の比較から学ぶことを知らせる。
2つの文章の違いを考えよう	
3 2つの文章の違いを考える。 (1) 電気自動車の批評文を読み、感想をもつ。 ・電気自動車についての筆者の考えが書かれていて、納得できるところと、そうでないところがあった。 (2) 批評文は説明文に比べ、読み手にどんな印象を与えるかを考え、発表する。 ・必要な知識が得られるだけでなく、筆者の考えを参考に自分の考えをもつヒントになると思った。	○電気自動車の批評文を配付し、説明文との違いを考えながら読むよう指示する。 ◎説明文と批評文を読み比べることで違いを知り、文章を評価・改善し、読み手に分かりやすい表現力を身に付けさせる。 ☆2つの文章の違いを考え、自分の言葉でまとめることができたか、ノートへの記述や発表から判断する。
4 「メディア社会を生きる」の批評文を書く。	○自分の考えを組み入れ、読み手に分かりやすい文章で表現するよう助言する。
5 教師の話を聞く。	○情報モラル専用サイト「i—モラル」の「お役立ち情報」の中の「国語に関する世論調査」を紹介し、批評するときには読み手の立場に立って書くことの必要性を伝える。

夢をかなえる航海ノート

No.50-01

“メディア社会を生きる”を 批評する

読んで、考えて、
自分の意見を
まとめよう。



本を読んで、筆者の考えにふれることは素晴らしいことだね。
そして、きみ自身が、筆者の考えに対してどう思うかをきちんとまとめ、
伝えることはとても大切なことなんだ。

説明文を読んだ感想を書きましょう。

批評文を読んで、説明文との違いについて気づいたことをできるだけたくさん書きましょう。

筆者の考えが書かれていて、
参考になったよ。



批評文は説明文に比べて、読み手にどんな印象を与えますか。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

「メディア社会を生きる」の批評文を書きましょう。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



「ここは賛成だ。」
 「ここはちょっと違う。」
 というように自分の考えを
 まとめながら
 読むことが大切ね。

先生から

.....

.....

.....

.....

.....

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○



全体構想

No.51

単元名

「自分の生き方を考えよう」

1 学年、教科・領域	中学校第3学年 総合的な学習の時間
2 ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 習得したコミュニケーションスキルを生かし、輝いている大人と接する中で、これからの生活の中で大切にしたいことを考えることができる。
3 本実践とキャリア教育との関連	<ul style="list-style-type: none"> 3年生のキャリア教育の実践では、習得したコミュニケーションスキルを生かし、地域で輝いている大人と接する中で自分らしさを発揮する。その活動を通して、地域講師やエキスパートの方から、生き方や進路に関する情報を獲得し、以後の生活や進路選択に生かす必要があると考える。 本実践は、首都東京で活躍されている専門家から生き方や仕事に対する思いを聞き、自己の将来設計について深く考えることから始まる。自分の夢に近づくために必要なこと、社会の一員としてできることを考えながら、自己を見つめ、夢の実現に向けて歩き出すというキャリア教育の視点から、意義ある活動である。

< 追究活動 >

主な学習活動	時数
・個人追究テーマを決めよう	1
・班別行動計画を立てよう	3
・修学旅行 東京班別行動 「エキスパートに会おう」	2
・修学旅行のまとめをしよう	3
「輝いている大人って？」 (1) 輝いている大人の生き方を知り、これからの生活に生かすことができる。 (2) キャリア教育としての目標 「人間関係形成・社会形成能力」 <コミュニケーションスキル>	1

本実践

< 道徳 >

2-(5)
それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解して、寛容の心を持ち謙虚に他で学ぶ

< 特別活動 >

わたしの持ち味、わたらしさ

< 特別活動 >

新しい出発に向けて

将来の姿を思い描こう

輝いている大人って？

1 学年、教科・領域 中学校第3学年 総合的な学習の時間

2 本時の目標

(1) 輝いている大人の生き方を知り、これからの生活に生かすことができる。

(2) 「人間関係形成・社会形成能力」＜コミュニケーションスキル＞

3 準備

○ フラッシュカード、人物図、ワークシート

4 展開

キャリア教育の視点から見て重要なこと (◎) 評価 (☆)

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1 印象に残っている大人を紹介する。 ・信念をもち、お菓子作りに励む姿が格好よかった。 ・「お客様を第一に」と話してくれた店長のことを思い出した。	○これまでの活動を振り返るため、3年修学旅行（エキスパートに会おう）、2年職場体験、1年職場訪問の3枚のフラッシュカードを黒板に貼る。 ○これまで出会った中で、最も印象に残っている大人について発表するように伝える。
2 これまで出会った中で輝いていた大人を表現する。	
輝いている大人はどんな人かを考えよう	
・自分の仕事に誇りをもっている人。 ・仕事に責任をもち、がんばっている人。 ・妥協がなく、自分の道を突き進んでいる人。	○輝いている大人の姿を自由に表現できるようにフラッシュカードを配付し、印象に残った言葉、絵（姿）、色を選択して描くことを伝える。 ◎各班で、輝いている大人が大切にしていることやこだわりのキーワードを考えさせ、ベスト3を決めてから意見交換するように指示する。
3 輝いている大人について、班で話し合う。 ・物をつくる腕前があり、意欲のある人。 ・お客さんのために尽くす人。	○班で決めたベスト3をフラッシュカードに記入し、黒板に提示した人物図の体に貼るように指示する。 ○輝く大人の具体的な姿に迫るために、各班から出されたベスト3について話し合わせる。
4 「私たちが考える輝く大人」を学級全体で考える。	☆言葉、絵、色を選択して輝く大人を表現し、互いのよさを認め合いながら意見交換することができたか発言内容から判断する。
5 これからの生活の中で大切にしたいことを考え、ワークシートに記入する。 ・何に関しても精一杯やろうという気持ちを持ち続けたい。	○輝く大人についての具体的な姿に迫るため、職場体験などでの体験を振り返るように助言する。 ○現在の自分に足りないものや必要なことを考えた後、大切にしたいことをワークシートに記入するよう指示する。
6 夢の実現に向けて、大切にしたいことをまとめる。	○今後の追究活動の意欲を高めるため、数名の生徒の考えを紹介する。

学級で話し合った「輝く大人」を参考にして、
これからの自分の夢の実現に向けて大切にしたいことを書きましょう。

船長のように、
危険を回避し、みんなを安全に
ゴールへ導いていく。そんな
リーダーシップを磨きたい。



困っている人のために
一生懸命尽くす人に
感心したわ。
私が職場体験で
出会った人を
お手本にしたいな。



先生から

保護者の方から



全体構想

No.52



題材名

「自分の道を切り開こう」

1 学年、教科・領域	中学校第3学年 学級活動
2 ねらい	・希望する進路（進学・就職）を実現するために必要な準備を行い、今後の課題を明らかにし、改善する。
3 本実践とキャリア教育との関連	・中学3年生の2学期になると、進路への関心が一層高まり、希望の実現に向けて努力をする時期である。一方で、思ったような学習や準備が進まず、不安になりがちな生徒もいる。一人一人のキャリア発達を促す上で、不安や悩みを解消しながら、準備を進めていけるよう個別の支援が大切である。各自が抱く不安や悩みを共通理解しながら、キャリアカウンセリングを行いたい。また、面接指導を通して、時と場に応じた言動ができるか、日ごろの生活と比較させながら行動の改善を促したい。

「生き方セミナー」
卒業生から学ぼう

主な学習活動	時数
・進路に向けて必要なことは何？	1
・自己PR書を書こう	1
「模擬面接をしよう」 (1) 自分や友達の模擬面接を通し、自己表現の仕方についての基本的な態度を見直す。 (2) キャリア教育としての目標「キャリアプランニング能力」	1
<行動と改善>	

本実践

<学級活動>
キャリアカウンセリング
・進路希望に関して、個人面談を行う
・進路の準備で分からないことに助言をする

<道徳>
2-(1)
礼儀の意義を理解し、時と場合に応じた適切な言動をとる

進路の決定

<学級活動>
面接の練習
教師が面接官を行うことで、緊張感をもって最終的な面接指導を行う

模擬面接をしよう

1 学年、教科・領域 中学校第3学年 学級活動

2 本時の目標

(1) 自分や友達の模擬面接を通し、自己表現の仕方についての基本的な態度を見直す。

(2) **「キャリアプランニング能力」<行動と改善>**

3 準備

○ 面接のビデオ、面接評価シート

4 展開

キャリア教育の視点から見て重要なこと (◎) 評価 (☆)

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 模擬面接のビデオを視聴する。</p> <p>2 模擬面接のやり方についての説明を聞く。</p>	<p>○模擬面接のポイントになることを説明しておく。</p> <p>○声の大きさや、姿勢など基本的なことについて理解させる。</p> <p>○グループ分けと役割分担の指示をする。</p>
<p>3 本時の課題を把握する。</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> 面接試験のロールプレイ・模擬面接をしよう </div>	
<p>4 面接試験でのロールプレイを行う。</p> <p>5 ロールプレイの様子で気付いたことの見聞交換をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し方が早口になっている。 ・表情が暗い、もっと笑顔で。 ・あわてず落ち着いた方がよい。 <p>6 グループ内で面接練習をする。</p> <p>(1) 面接官役、生徒役、評価者役の3役を交替で行う。評価者は感想を述べる。</p> <p>(2) 友達の模擬面接の内容を面接評価シートで評価する。</p>	<p>○教師が生徒役のよい例、よくない例を意図的に演じ、その様子を観察させる。</p> <p>○面接官役と評価者役を生徒に行わせる。</p> <p>○面接で大切なポイントに気付かせる。</p> <p>○机間指導をして、大切なポイントの助言をする。</p> <p>○できるだけ友達のよい点を見付けるように助言する。</p> <p>◎自己の個性や長所を適切に表現するには、いろいろな工夫をする必要があることに気付かせる。</p> <p>○一人ずつ面接評価シートに記入するように指示する。</p>
<p>7 模擬面接で気付いたことや感想をまとめる。</p>	<p>☆声の大きさや姿勢等基本的なことを意識して行動できたかどうか、面接評価シートや授業感想から判断する。</p>
<p>8 教師の話聞く。</p>	<p>○授業での反省を生かし、面接指導会（教師が面接し評価する）につなげることを話す。</p>

夢をかなえる航海ノート

No.52-01

模擬面接をしよう

自分のよさを
認めてもらえるよう
練習しよう。



面接では、話の内容と話しているきみの姿勢、どちらも大切なんだ。
想定される質問の答えをまとめ、
大きな声で、はっきりと答えることができるように練習をしよう。

面接ロールプレイの様子で気づいたことをできるだけたくさん書きましょう。

模擬面接で気づいたことや感想を書きましょう。

「模擬面接をしよう」質問表

面接でよく質問される内容	自分のよさについての質問内容
①本校を志望した理由は何ですか。	①中学校でがんばったことを話してください。
②本校でやりたいことは何ですか。	②自信のあることはどんなことですか。
③本校ではどんな部活動に入りますか。	③将来の夢は何ですか。
④高校卒業後の進路について教えてください。	
⑤今、一番やりたいことは何ですか。	

夢をかなえる 航海ノート

高等学校編



No	対象学年	ノート名	テーマ	ページ
1	1年	入学ノート	今の自分を知ろう。自分の夢をかなえよう。	P177
2	高全	部活動ノート	仲間たちと目標に向かって努力しよう。	P179
3	高全	進路講演会ノート	夢実現へのヒントを探ろう。	P181
4	高全	夏休みノート	自分に挑戦しよう。	P182
5	高全	定期考査記録ノート	進路実現へ向かって努力しよう。	P184
6	高全	行事ノート	仲間たちと創り上げよう。協力しよう。	P186
7	高全	進路発見ノート	夢に一步近づこう。なりたい自分を見つけよう。	P188
8	高全	学年振り返りノート	自分の成長を知ろう。なりたい自分に近づこう。	P198
9	高全	年間目標ノート	夢に向かって1年をスタートしよう。	P200
10	高全	インターンシップノート (準備)	社会を学ぼう。体験しよう。	P202
11	高全	インターンシップノート (振り返り)	体験から未来の自分を描いてみよう。	P204
12	高全	ボランティア活動ノート (準備)	社会貢献から学ぼう。	P206
13	高全	ボランティア活動ノート (振り返り)	体験での学びを生活に生かそう。	P208
14	高全	自分発見ノート	自分のことを理解しよう。新しい可能性を見つけよう。	P210
15	高全	進学発見ノート	夢に向かって前進しよう。	P212
16	高全	就職発見ノート	自分の力を社会で生かそう。	P219
17	3年	卒業ノート	夢をかなえよう。なりたい自分に出会おう。	P221

いっしょに旅をする船員たちです。 いっしょに夢をかなえる仲間になります。

きみが悩んで立ち止まったら、船長のアイリスがアドバイスをしてくれます。
世の中の出来事を知りたくなったら、コノハが最新ニュースを伝えてくれます。
たくさんの仲間たちがきみやきみの同級生であるハナ&ノッキーの手助けをしてくれる大航海、
そのゴールには、きつとなりたい自分が待っています。



名前 アイリス

ニックネーム

船長またはキャプテン

自己紹介

アイリスのアイは愛知の愛。また、アイリスとは英語で愛知県の花、“カキツバタ”のことなんだよ。みんなを見守りながら、ゴールまでいっしょに旅をします。



名前 コノハ

ニックネーム

ジャーナルバード

自己紹介

愛知県の鳥、“コノハズク”と似ているでしょ。みんなに伝えたい情報を探して、世界中を飛び回るジャーナリストだよ。



名前 チツ多 & アツ美

ニックネーム

センパイ

自己紹介

ハナやノッキーの相談相手です。生まれはそれぞれ知多半島、渥美半島だよ。優しく、時には厳しくアドバイスをしていきます。



名前 ハナ & ノッキー

ニックネーム

シンマイ船員

自己紹介

愛知県の花、“ハナノキ”が名前の由来だよ。みんなの同級生です。この航海でいろいろなことを学んで、いっしょに自分たちの夢をかなえたいな。



名前 エピンソン

ニックネーム

タビピト

自己紹介

愛知県の魚は、“クルマエビ”って知っていたかな。生まれは伊勢湾、気の向くまま旅をして、見たこと、聞いたことをハナやノッキーに伝えてやるぞ。



名前 オルーカ

ニックネーム

船の精霊

自己紹介

名古屋城の上で光っているシャチの英語名、“オルカ”にちなんだ名前です。みんなの未来を眺めながら、今学ぶべきこと、身に付けたい力などを伝えていきます。





| 入学ノート | No.01-01

「今の自分を知ろう。自分の夢をかなえよう。」

入学ノート

高校入学おめでとう。

あなたはどんな高校生活を送りたいですか。一日も早く新しい生活に慣れ、充実した3年間にしましょう。

1 自分のプロフィールをつくり、これまでの自分を振り返ってみましょう。

■ 名前

■ 生年月日

■ 出身小学校

■ 出身中学校

■ 今までのクラブ・部活動とその取組など

■ あなたの趣味

■ 得意科目

■ 中学までの自分を振り返ってみましょう。

いよいよ高校生。
高校生活や
将来の目標を考える前に
これまでの自分のことを
振り返ってみよう。



【指導上の留意点】

- 主に「自己理解能力」を高めます。
- 記入後は朱書きをします。その後、ファイルに綴じて累積します。
- 学年振り返りノート、3年生は卒業式ノートを記入するときに利用します。
- これまでの自分と、将来になりたい自分を意識させ、
どのような高校生活を送りたいか具体的な目標をもたせることが重要です。

2 これからの高校生活のこと、将来のことを書いてみましょう。

■ 将来の夢とその理由は何ですか。

.....

.....

.....

.....

■ この高校への入学動機は何ですか。

.....

.....

.....

.....

■ 3年間の高校生活で
実現したいことは何ですか。

.....

.....

.....

.....

■ 目標を実施するために各学年で取り組みたいことを書きましょう。

1年

.....

.....

2年

.....

.....

3年

.....

■ 1年間の行事の中で楽しみなもの、努力したいことは何ですか。

.....

.....



さあ、将来の夢に向かって
高校の3年間で
取り組みたいこと、
そしてまずは
1年生で取り組みたいことを
はっきりさせると、
いっそう高校生活が
充実するはず。

先輩からのアドバイス

将来、自分はどんな職業に就きたいのかイメージし、その希望を
.....
実現するために必要なことを考え、自分なりの目標を立てることが
.....
大切です。まずは背伸びせず実現可能な目標から少しずつステッ
.....
プアップしていこう。



部活動ノート | No.02-01

「仲間たちと目標に向かって努力しよう。」

部活動ノート

同じ目標をもつ仲間たちと切磋琢磨する、特技や興味を伸ばす、部活動に真剣に取り組むことは自分を大きく成長させてくれます。ぜひ真剣に取り組んでみましょう。

1 入る部活動を決めたら3年間の目標を立てましょう。

■ 部活名

■ 入部の動機は何ですか。

【指導上の留意点】

- PDCAサイクルで主に「キャリアプランニング能力」を高めます。
- 4月の雨天時等の部活動のミーティングの時間を利用して、目標の部分を記入します。
- 3月の雨天時等のミーティングの時間を利用して、記録や振り返り、次年度の目標について記入します。
- 記入後は顧問と担任で確認し、ファイルに綴じて累積し、学年振り返りノート、3年生は卒業式ノートを記入するときに利用します。

■ 3年間の目標は何ですか。

■ 部活動を通して身に付けたいことは何ですか。

中学と同じことを続けて
もっと上をめざすのもいいけど、
新しいことを
始めてみたい気もするな。

